

第10回 Excellent NPO Awards エクセレントNPO大賞

審査について

「エクセレントNPO大賞」の審査は、応募者の皆様と同様にエクセレントNPO評価基準を用いて行います。

「エクセレントNPO評価基準」の著作権は特定非営利活動法人言論NPOに帰属します。私的かつ非商業目的で使用する場合、その他著作権法により認められる場合を除き、事前に言論NPOの書面による許可を受けずに、複製・公衆送信・改変・切除・ウェブサイトへの転載等の行為をすることは、著作権法により禁止されています。

◎本賞応募の際の自己評価基準 (2022年度)

市民性

- ボランティアの役割を明確に示し、また、活動計画の中にそれを組み入れていますか。
- 広くボランティア参加の機会を拓き、その活動内容や参加条件等を分かり易く説明していますか。
- ボランティアに対して事前の説明や研修等を行っていますか。
- ボランティアから感想や意見を聞くふりかえりの機会を作っていますか。感謝の気持ちを伝えていますか。
- 寄付の使途や成果などについて時期を逃さずに丁寧に報告していますか。

課題解決力

- あなたの団体は自ら取り組んでいる課題を具体的に把握し、明確に説明できますか。
- あなたの団体が取り組む課題について、その背景にある原因に目を向け、法制度や慣習などの社会の仕組みにかかわる問題を視野に入れていますか(社会的インパクトの視点)。
- 事業を予定通りに実施したことだけでなく、事業の対象(人および自然環境などの人以外のものも含む)へのプラスの影響や変化を成果として目指していますか(アウトカム目標)。
- リーダーは、課題解決のために中心的な役割を担い、また、組織内外の専門家、資金などの資源を組み合わせ、それらをうまく機能させるためにマネジメント力を発揮していますか。
- あなたの団体は前々項で掲げた目標(アウトカム目標)に基づいて出した成果について、根拠(データや事例)をもって説明できますか。
- 活動の改善点や新たな活動のヒントを見出し、それを事業の方法や次の計画に反映していますか。

組織力

- あなたの団体は、組織の全体像を明確に説明できていますか(H P等に、組織の目的、活動内容、連絡先、事業報告書、会計報告書、役員一覧等が説明されている)。
- 特定の資金源に過度に依存せず、広く多様な主体から資金を集め、収入多様性を維持していますか。
- 資金調達のプロセスは透明で、社会倫理に反するような資金は受け取っていませんか。
- あなたの団体は、スタッフ(常勤、非常勤を問いません)に組織の使命・目的をきちんと説明し、彼らが仕事に取り組み、スキルアップできるように助言・相談や教育の場を設けていますか。

*本賞は自己評価が適切に行われたかを重視して審査が行われます。全項目において満点をつけるのではなく、組織や活動における課題を見据え、その課題を克服するための工夫や対応を示すことが重要です。こうした点に着目して適切な自己評価結果を記してください。

*応募用紙をダウンロードしていただくと、項目ごとに自己採点時の注意点や評価のポイントが記されています。記述の際にご参照ください。

*ご不明な点やご質問は、メールアドレス(enpo@genron-npo.net)までお問い合わせください。

<http://www.excellent-npo.net/>

2022年度 募集要項

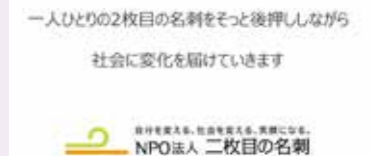
「エクセレントNPO大賞」は、自己評価を行いながら質の向上をめざす非営利組織を応援し、その活動を社会に「見える化」をすることを目的としています。

昨年度(第9回)受賞団体のご紹介



二枚目の名刺 (東京都渋谷区)

組織や立場を超えて社会のこれからを創るときに持つ名刺を「2枚目の名刺」と位置づけ、社会貢献にとどまらない働き方・学び方を提唱する。社会人とNPOの連携は、参加する者だけでなく所属する企業等にも変化をもたらす。コロナ禍でオンライン取組を導入したこと、国内外から幅広いバックグラウンドのメンバーが参加している。



とりで (山口県岩国市)

山口県岩国市・広島県大竹市を中心に子ども虐待の予防と保護を目指した「子どもの居場所づくり」「子どもの貧困対策」「保護者への子育て支援」活動を行う。子どもや保護者とかかわるきっかけを作り、支援が必要な家庭に対しては多角的なアプローチを展開し、「地域が子育てを支える」社会の実現を目指している。



第9回課題解決力賞



全日本 ピアノ指導者協会 (東京都豊島区)

音楽指導者の資質向上による音楽教育の振興につとめ、広く文化の発展に寄与することを目的とする。全国に拠点を有し、多くの事業は会員のボランティアで運営。ピアノ教育を通じて「人間力」を育み、より豊かな社会の醸成を目指して、人々の学ぶ環境を整え、文化芸術の振興を支える事業を幅広く展開している。



DAREDEMO HERO (フィリピン・セブ)

セブ島で貧困層の子どもたちに教育支援を行い、将来この国の貧困問題を自らの力で根本から解決するためのリーダーを育成している。すべての子どもたちが夢と希望を持ち、努力が正当に報われる社会が実現されることを目指して活動している。



〈主催〉



「エクセレントNPO」をめざそう市民会議 in 言論NPO

〈共催〉 毎日新聞

〈協賛〉 住友商事(株) 野村ホールディングス(株) 日本生命保険相互会社 SCSK(株) (株)IHI (株)りそなホールディングス

〈協力〉 (株)LITALICO Institution for a Global Society(株)

〈後援〉 内閣府 文部科学省 総務省 中央共同募金会 ドラッカー学会

日本国内では、5万を越すボランティア団体、非営利組織(NPO)がさまざまな分野で活動をしています。その中で、優れた団体の条件とは何でしょうか。

私たち「『エクセレントNPO』をめざそう市民会議」では、客観的な自己評価の能力を身につけたうえで、市民とのつながりをより強め、最終的に優れた結果を出すことだと考えています。すなわち、

組織運営の弱点を改善しようとする **組織力**

より多くの市民の参加と支持を得る **市民性**

課題を正確に認識して成果を出す **課題解決力**

という3つの基本条件です。そして私たちは各条件に対応した合計15項目の自己評価基準を用意しました。

応募団体にはまず15項目について自己採点していただき、審査委員会がその結果と事業内容などを照らし合わせたいうで「市民賞」「課題解決力賞」「組織力賞」の3賞を決定します。

本賞は一部の卓越した団体の表彰がゴールではありません。審査を通じてNPO活動の質の向上をめぐる競争を促し、努力した団体にはより良質な支援が集まる好循環を生み出すことがゴールです。このため、応募されたすべての団体の自己評価書(応募用紙)に対して、フィードバック・レターをお送りします。

多くの団体のエントリーをお待ちしています。

◎募集要項

【応募資格】

国内外における社会貢献を目的とした日本国内の民間非営利組織(法人格の有無、種類不問) ※自薦・他薦可



※第9回オンライン表彰式受賞団体集合写真

【応募期間】

2022年10月10日(月)～12月10日(土)17時必着

【応募方法】

・本賞にご応募される方は、下記のサイトから応募用紙をダウンロードして必要事項をご記入ください。ご記入後、同サイトの応募フォームを用いて応募用紙をアップロードしてください。

「[エクセレントNPO大賞ホームページ](http://www.excellent-npo.net/)」(<http://www.excellent-npo.net/>)

・応募方法の詳細は上記のホームページでご説明しておりますので、そちらをご覧ください。

・応募方法等がご不明な場合には、下記事務局までお問い合わせください。

【審査方法】

審査委員会により、エクセレントNPO基準に基づいて第一次審査、第二次審査を実施し、最終的な受賞団体を決定します。表彰式後、全ての応募団体にフィードバック・レターをお送りします。

【審査委員】 (敬称略)

島田 京子(元横浜市芸術文化振興財団専務理事)、近藤 誠一(近藤文化・外交研究所代表、元文化庁長官)、堀江 良彰(難民を助ける会理事長)、新田 英理子(SDGs市民社会ネットワーク理事・事務局長)、渋谷 篤男(日本福祉大学教授)、福島 良典(毎日新聞社論説委員長)、砂田 薫(ギャップイヤー・ジャパン代表)、阿部 陽一郎(中央共同募金会常務理事)

【表彰】

2023年5月10日(水)に毎日ホール(毎日新聞東京本社地下1階)で表彰式を行います。各部門ごとにノミネートされた4～5団体をご招待し、その活動のご紹介とともに表彰を行います。その中から各賞受賞団体およびエクセレントNPO大賞受賞団体を発表いたします。なお、ノミネートが決まった団体には事前にご連絡いたします。

【事務局】 応募受付・審査進行管理:「エクセレントNPO」をめざそう市民会議事務局

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-7-6 LAUNCH日本橋人形町ビル5階 言論NPO内

Tel. 03-3527-3972(平日9時30分～17時30分受付) Fax. 03-6810-8729

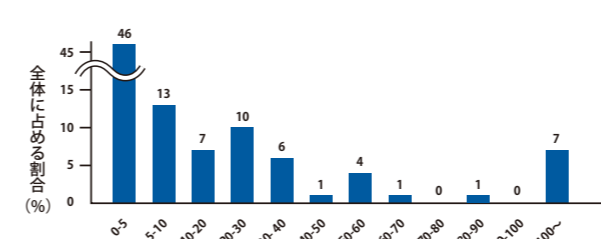
お問い合わせ用メールアドレス(enpo@genron-npo.net)



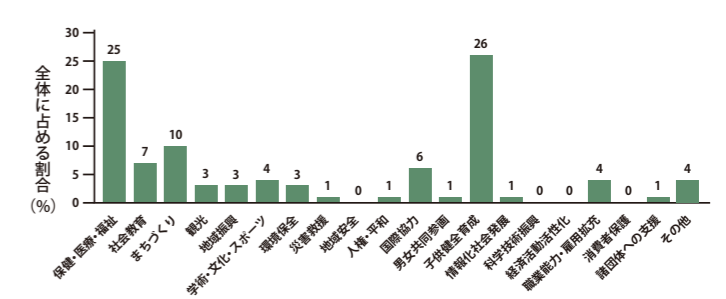
「エクセレントNPO」の基本条件である「市民性」「課題解決力」「組織力」に基づき、3つの部門賞が設けられています。また、各受賞団体の中から最も優れたNPOとして、「エクセレントNPO大賞」が決定されます。なお、基本条件の詳細については、認定NPO法人 言論NPO発行の言論ブログ・ブックレット⑩『改訂版「エクセレントNPO」の評価基準「エクセレントNPO」を目指すための自己診断リスト—初級編—』をご参照ください。

応募団体は多種多様。規模もさまざまです。活動分野も多岐に渡っています。(2021年度実績)

前年度の収入額 (単位:100万円)



活動分野



- ・収入規模は大小さまざまですが、収入額が500万円以下の小規模団体が多くなっています。
- ・応募団体はバリエーションに富んでおり、複数回にわたり応募される団体が増えています。
- ・活動分野では「保険・医療・福祉」、「子供健全育成」、「まちづくり」が比較的多いと言えます。

◎賞の構成

●大賞

<賞状・賞金50万円>



「大賞」は、右の3つの部門賞の受賞者の中から選ばれます。受賞団体は毎日新聞本紙、及び関係地方版でご紹介します。(ただし、一定の水準を超える組織がない場合は、該当者なしとする場合もあります) ※大賞賞金は、部門賞の賞金に加算して贈呈いたします。また毎日新聞の特集記事として掲載されます。

●市民賞

<賞状・賞金30万円>

非営利組織の活動が広く市民に開かれている団体に与えられる賞です。ここでは、ボランティアや寄付を通して参加の機会が提供されており、参加者に市民として成長できる場が十分に提供されているかが評価の視点となります。

●課題解決力賞

<賞状・賞金30万円>

自らの使命のもとで、社会的な課題解決に向けて成果を出している団体に与えられる賞です。ここでは、明確な課題の把握、適切な解決方法、リーダーシップ、評価の力が問われます。

●組織力賞

<賞状・賞金30万円>

責任ある活動主体としてガバナンスが機能し、経営の持続性の維持と、自らの組織改善の刷新性をうまく共存させている団体に与えられる賞です。ここでは、資金調達の透明性や規律、収入源の多様性、情報開示などが問われます。

<特別賞>

●チャレンジ賞

<賞状・賞金10万円>

この賞は、より少ない基準数で着手できるようにした入門編です。市民性、課題解決力、組織力の基準を適切に理解して評価ができているかが問われます。

◎これまでの受賞団体

開催回数	エクセレントNPO大賞	市民賞	課題解決力賞	組織力賞	チャレンジ賞*1/ コロナ対応チャレンジ賞*2
第1回	※受賞なし	Youth for 3.11	高木仁三郎市民科学基金	スペシャルオリンピックス日本	※設定なし
第2回	難民支援協会	プール・ボランティア	多文化共生センター東京	かものはしプロジェクト	※設定なし
第3回	シャプラニール=市民による海外協力の会	ママの働き方応援隊	にじいろクレヨン	シャプラニール=市民による海外協力の会	※設定なし
第4回	SOS 子どもの村 JAPAN	さほうとにじゅういち、ACE	SOS 子どもの村 JAPAN	杜の伝言板ゆるる	※設定なし
第5回	Learning for All	アルテピアッツァびばい	Learning for All	ホームホスピス宮崎	※設定なし
第6回	がんサポートコミュニティ	みらいの森	エイズ孤児支援NGO・PLAS フードバンク山梨 (2団体)	がんサポートコミュニティ	※設定なし
第7回	ジャパンハート	ジャパンハート	ぎふ学習支援ネットワーク	メドゥサン・デュ・モンド ジャポン	とりで *1
第8回	POSSE	POSSE	キャンサーネットジャパン	日本環境教育フォーラム	エイズ孤児支援NGO・PLAS *2
第9回	二枚目の名刺	二枚目の名刺	とりで	全日本ピアノ指導者協会	DAREDEMO HERO *2